



ふあみさぽ通信

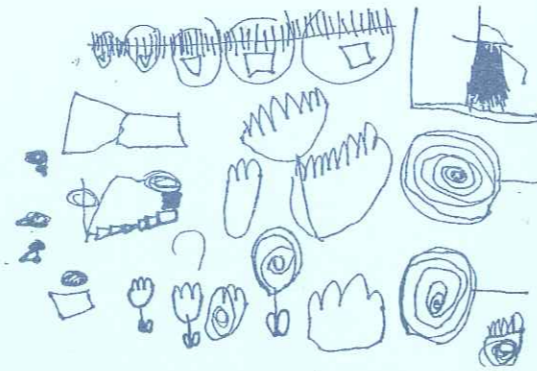
発行/狛江市ファミリー・サポート・センター(指定管理者:社会福祉法人 雲柱社)

発行日/2009年2月1日

センターからのお願い

1 カ月まとめて報酬をお支払する利用会員さんへ

・サポート会員さんには毎月7日までに報告書の提出をお願いいたしております。サポート会員さんが7日までに提出できるように、利用会員さんはすみやかに報告書にサインをして謝礼をお支払い下さい。



しまだ にこちゃんの絵

利用会員さんへ

・利用会員さんがサポート会員さんに直接援助依頼をされましたら、活動前に必ずセンターにご連絡をお願いいたします。連絡がありませんと保険の対象外となりますのでご注意ください。
・お子さんが小学校を卒業されますとファミリー・サポート・センターはご利用になれません。中学生になりましたらセンター事務局で除名させていただきますので、ご了承下さい。

サポート会員さん・利用会員さんへ

・今年度からサポート会員さん並びに利用会員さんが初めて援助活動をする場合の事前打ち合わせにはアドバイザーが立ち合わせて頂くことになりました。センターの開設時間内に行わせていただきますのでご協力をお願いいたします。事前打ち合わせをサポート会員宅にて行うことが多くなりますので、よろしくをお願いいたします。
・お子さんが通っている保育園、幼稚園などの施設の変更や自宅の電話と携帯電話の番号が変わった等、登録内容に変更がありましたら、センター事務局にご連絡下さい。

今後の予定

| | | | |
|----------|------------|-----------|------------|
| 2月5日(木) | サポート会員講習会 | 小田急高架下会議室 | 午前10時から |
| 2月6日(金) | サポート会員講習会 | 小田急高架下会議室 | 午前10時から |
| 2月14日(土) | 事業説明会 | 和泉児童館 | 午前10時30分から |
| 2月20日(金) | ファミサポ サロン | 和泉児童館 | 午前10時30分から |
| 2月25日(水) | サポート会員保育体験 | 和泉児童館 | 午前9時35分から |
| 3月13日(金) | ファミサポ サロン | 和泉児童館 | 午前10時30分から |
| 3月14日(土) | 事業説明会 | 和泉児童館 | 午前10時30分から |

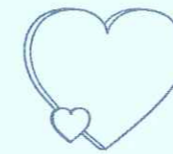
☆ 事業説明会とサポート会員講習会には1歳以上のお子さんの託児をいたします。センターにご相談下さい。
☆ 予定が変更されることがあります。参加をご希望される際は、センターまでお問い合わせ下さい。
詳しくは、ホームページ <http://fukushi.unchusha.com/izumi/family/index.html> をご覧下さい。

アドバイザーのつぶやき

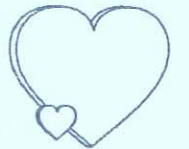
雪の高尾山を歩くのも楽しいですが、やはりすみれやさくらの開花が待ち遠しいこの頃です。この『アドバイザーのつぶやき』は今回でおしまいです。次回から新しくなります。



一年でもっとも寒い季節ですが、いかがお過ごしでしょうか。2月25日(水)に寒さで固まった体や心をほぐす催し「心と体のリラックス講座」を和泉児童館で行います。託児(3カ月以上)をいたします。小さいお子さんがいてたまには一人でリラックスをしたいなど思っているお母さん、ご参加をお待ちしております。もちろん、ちょっと大きいお子さんのお母さん方もお子さんたちが学校や幼稚園に行っている間に是非ご参加ください。



「心と体のリラックス講座」



♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

[日時] 2月25日(水) 10:00~11:30
[場所] 和泉児童館
[託児のいる方] 先着 10名 託児対象児3カ月から
[託児のいない方] 10名 お子さんの同席はご遠慮ください
[講師] 田頭祐子さん
(NPO) 自己尊重プラクティス協会 インストラクター
[申込] 2月4日(水) 10:00~
和泉児童館窓口でお申し込みください。



♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



会員数

平成21年1月15日現在
利用会員 643人
サポート会員 153人
利用・サポート会員 36人

平成20年9月から11月の援助活動回数ベスト5

保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 308回
保育所・幼稚園までの送り及び迎え 219回
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり 156回
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り 86回
子どもの習い事等の場合の援助 85回

合計 832人 総援助回数 1,284回



あらい まなちゃんの絵

ただ今活動中です

一人でがんばっているお母さんのお役にたてれば

サポート会員 C.Gさん

ファミリー・サポート・センター活動を始めて2年になりました。
(始めたきっかけは子どもたちも大きくなり少し時間に余裕ができたことと、以前していたボランティアはパートの仕事を削ったり、家を空けたりすることもあり家族に悪いな・・・という思いがありました。そんな時に知ったファミリー・サポート。

家にいてお子さんをお預かりすることで少しお母さんのお役に立てる。その上私の子どもたちも小さい子とふれあうことができる・・・)

実際お預かりしてみると、だっこをしてもお散歩に出しても泣いてしまう子。どうして良いのかわからず困ってしまうようなことも何度もありましたが、突然知らない人の家に連れられてこられてお母さんはいなくなってしまうのです。あとからお迎えに来てくれるかどうか赤ちゃんにはわかりません。こんな不安なことはないでしょう・・・そう思うと悲しいのが当たり前、少しでも安心してもらえれば・・・と思えて来ます。

良いことはたくさんありました。高校生と中学生の子どもがいるのですが、楽しそうに一緒に遊んでくれたり保育園のお迎えと一緒に連れて行ってくれたり、とても協力的で子どもたちの優しさを感じることもできました。また、一人ではなかなかお散歩などしませんが、お預かりの時間に多摩川の土手をベビーカーを押しながらお散歩をする気持ち良さ！3歳以上になるとお喋りもたくさんしますので、帰る時に元気な笑顔で「楽しかった」と言ってくれた時。そして何よりお金をいただいてしまっているにもかかわらず、どのお母さんも皆さん、「ありがとうございます。助かりました。」と言ってくれることです。私は母が近くに住んでいたので子どもが小さい頃熱が出たり、出かける用がある時はいつも預かってもらっていました。なので少しでも一人でがんばっているお母さんのお役に立てればいいな・・・と思っています。

11月29日に交流会が開催されました

他己紹介でお知り合いになった皆さんからは活発な意見や質問が出されました。和気あいあいとした雰囲気の中、子育てについての問題を共有し楽しいひと時を持つことができました。「仕事以外で自分の子をよその人に預けるのは気がひけます・・・」という利用会員のママのつぶやきに、「子育ては大変・・・お母さんも時にはお子さんから離れて自分の時間を持つことが大切。そのためにも遠慮なくファミリー・サポート・センターを利用して下さい。」というサポート会員さんの頼もしい言葉に一同納得！！
次回も多くの皆さんのご参加をお待ちしております。



あらい まなちゃんの絵



ちゅうばち たくま君の絵

ただ今活動中です



ちゅうばち るりちゃんの絵

サポートを受けてリフレッシュ

利用会員 T.Oさん

私は娘が1歳の頃からお世話になっています。初めのうちはサポートさん宅で預かっていただくのに少し抵抗があり、児童館のひまわりルームでお願いしていました。どのサポートさんもみなとても優しく、娘が小さいうちは私が外出先から戻ると、よくサポートさんに抱かれて眠っていました。お布団に置くと起きてしまうので、何十分も抱っこして下さったことも度々でした。

1歳半頃になるとサポートさん宅で預かっていただくことも多くなり、親である私よりも熱心に相手をして下さるので、娘もすぐになつき、「ワンちゃんがいるおばちゃん家に行きたい」とか「Yおばちゃんはいきんまんが好きなんだよ。」など、サポートさんの事が日常会話にも出てくるようになりました。折り紙を折って下さったり、一緒にキャラクターのおもちゃで遊んで下さったり、私が持たせたお弁当を食べずにサポートさん宅のお昼ごはんをいただいたりしたこともありました。

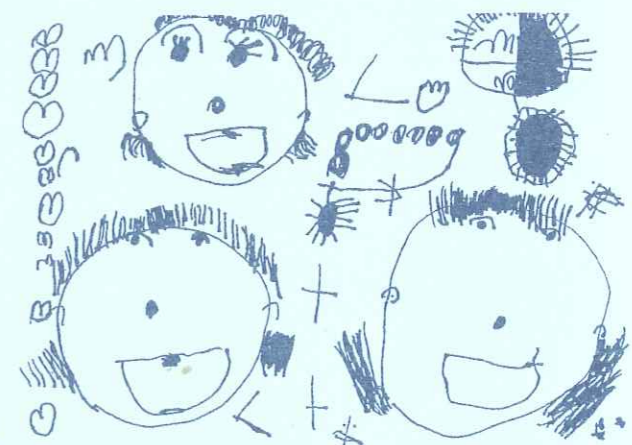
サポートさんたちは、本当の孫のように娘を可愛がって下さり、私も安心してお任せしています。娘もこの4月には幼稚園に入園してしまうのが、少しさみしい気もします。

私は主に、病院や買い物・お料理教室に行く時などに預かっていただきましたが、数時間でもお友達に預かってもらうよりも気楽で、私はよく利用させていただきました。24時間育児を任される母親にとって、少しでも自由な時間を与えられることは、とても気晴らしになりリフレッシュできます。子どもはかわいいけれど時には息詰まり、解放されたいと思うこともあります。このファミリー・サポートというシステムをうまく利用し、1人でも多くのママたちが素敵な育児ができるといいと思います。

手作りおもちゃ教室と保育体験

12月1日に岩戸児童センターの相談員の中尾由美子先生に来て頂きました。四角の箱のつながり方でアンパンマンやバイキンマンに変わる楽しいおもちゃを作りました。大好きなキャラクターとお母さんの書く表情が楽しくて笑い声が響きました。

一方保育体験では久しぶりに小さいお子さんをみた新人サポート会員さんは保育をしている間にお子さんになつてきたことで自信？が持て楽しく過ごされました。和泉児童館の相談員から「子どもをみることにきまりはありません。いっしょにいることを楽しみましょう。お母さんとのコミュニケーションが大切です。」というアドバイスがありました。



しまだ にこちゃんの絵